

広報

ただみ

1
2022 月号

No. 620
令和4年1月10日



今月の表紙

【今年の雪まつりの「雪むすめ」が決定】

第49回只見ふるさとの雪まつりのPRや当日の案内を務める「雪むすめ」の委嘱状交付式が、12月16日に行われました。委嘱状を受け取った二人は「選ばれたことを嬉しく思います。雪まつりのPRを精一杯頑張ります」と挨拶しました。(左：小林明日香さん、右：馬場なな子さん)

(関連記事：P 4 - 5)

《特集》

新年のご挨拶	2～3
「第49回ただみふるさと雪まつり」を開催します	4～5
ただみ・モノとくらしのミュージアム	6～7
信州大学 古民家調査	8～9
《News&flash》	10～11
《町の話》	12～17



ご挨拶

未来に託せる 持続的なまちづくり

只見町長 渡部 勇夫



明けましておめでとうございます。令和四年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策で不安と我慢の年となりました。今もまだまだ油断はできませんが、比較的穏やかな新年をお迎えにできたことと拝察いたします。

現在のコロナ禍において、ワクチン接種は日常を取り戻すための大きな希望です。今後も皆さまができるだけ速やかに、安心してコロナウイルスワクチン接種をしていただけるよう全力を尽くしてまいります。

今秋には、JR只見線が十一年ぶりに全線再開通する見込みとの発表や、只見高校が今春の選抜高校野球大会21世紀枠で東北ブロック代表校に選出されるなど、初春の只見町は明るい話題で新年を迎えることができました。

本年は、これらの明るい話題に支えられながら、未来に託せる持続的なまちづくりを具体的に進めてまいりたいと思います。皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

まずは、JR只見線の全線再開通に合わせ只見駅前賑わい創出事業として、お迎えの体制を整えてまいります。

これには、第三セクターの体制強化が伴わなければなりません。人材の確保とともに、地域で事業を営んでお

れる方々との連携づくりにも努めてまいります。

そのうえで、国道289号八十里越の全線開通を見据えた、更なる受け入れ態勢充実を目指し、季の郷湯らりの施設等リニューアル準備に着手してまいります。

次に、小中学生が中心となって進めているSDGsの精神を我々も実践するため「薪ボイラー導入事業」に着手します。山に囲まれた只見町として、地域にある山村資源を活用し、地域内経済の循環に寄与するシステムづくりに取り組んでまいります。

これらが順調に展開していけば温泉施設や老人福祉施設、更には各家庭にも普及できる可能性があります。

産業面では、米価の下落・資材や燃料等の高騰による経営環境の悪化が引き続き懸念されておりますが、梁取及び只見地区のほ場整備事業に取り組むとともに、生産基盤や環境基盤の補助を含む支援対策も関係者の声を聴きながら講じてまいります。

次に道路や橋梁等の維持管理が年々困難な状況になってくるのが懸念されるため、国や県及び建設会社等と町も一緒になって、少子高齢化における公共インフラの在り方を研究してまいります。

診療所の医師対策としては常勤医師の確保に向けて引き続き粘り強く要望してまいるとともに、子どもの健やかな成長を支援する事業に積極的に取り

組んでまいります。

更に、高齢化の進行に伴って多様な・複雑化する高齢者福祉ニーズに対応し、身近で適切なサービスを提供していく必要があることから、地域福祉の中核である社会福祉協議会の特性を生かし、相談からサービス提供までのワンストップ化を目指し、地域包括支援センター業務を委託することを検討してまいります。

また、今年7月には「ただみ・モノとくらしのミュージアム(大倉地区)」が会津只見考古館と繋がってオープンする予定です。国が進めている文化観光推進の政策にも叶うものであり、旧長谷部家や旧五十嵐家、そして河井継之助記念館やブナセンター、ふるさと館田子倉とも連携を図った「文化観光」づくりに取り組んでまいります。

振興センターは地区センターから名称を改め、長年地域づくり委員会・自治振興会並びに地域住民の皆様のお力で事業に取り組んでまいりました。本年は今までどおり取り組んでまいりますが、同時に令和五年度からの在り方を考えるため、今の地域の状況を改めて見直し、社会教育と社会福祉という考え方を基本に据えて各方面からのご意見をいただきながら、検討してまいります。

念頭にあたり所信の一端を申し上げます。心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年の



より身近で開かれた 議会を目指して

只見町議会議長 大塚 純一郎

明けましておめでとうございます。只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に深いご理解とご指導を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、国内外ともに大きな出来事があった1年でした。

特に、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、経済活動をはじめ様々な分野に大きな打撃を与えました。国内では「緊急事態宣言」が発令され、県内でも「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、私たちの生活様式も大きく変わることとなりました。町内でも感染防止の観点から、各種イベントや集落活動においても軒並み中止や延期を余儀なくされ、人々との交流が大幅に減少するなど我慢の1年であったと感じております。本年についても、3回目のワクチン接種が予定されており、第6波を未然に防ぐよう今後とも慎重な対応をお願いいたします。

国内では、衆議院解散総選挙が行われ自由民主党が絶対安定多数を獲得し、第2次岸田内閣が成長と分配の好循環の実現に向けた「新しい資本主義」を掲げ発足しました。また、地球の気候変動対策を話し合う国際会議（COP26）において、日本として「2030年

度には2013年度比で46%のCO₂削減、さらに50%削減の高みを目指す」との目標が示され、今後、カーボンニュートラルの達成へ向けた取組が加速していくものと考えております。更には、オリンピック・パラリンピックが57年ぶりに東京で開催され、緊急事態宣言下での開催に様々な議論がなされましたが、各国選手の競い合う姿は、コロナ禍で閉塞感が漂う中であって、多くの方々に感動と勇気を与えてくれたものと感じております。

当町においては、近年にない豪雪となり2月中旬には積雪が3mを超えるなど町民生活に多大な影響を与えました。また、ティーエヌアイ工業(株)会津工場が3月末をもって操業を停止し、約30年にわたり町内の雇用を支えていただいた企業の撤退は非常に残念な出来事でありました。一方で、12月には只見高等学校が春の選抜高校野球大会・21世紀枠で、東北地区の候補校に選出されたという明るい知らせがあり、今月行われる選考委員会において甲子園行きの朗報が届くことを心から願っております。

今年も、待望のJRR只見線の全線再開通が予定されております。国・県・沿線自治体をはじめ多くの方々のお力添えを賜り、ようやく出発点が見えてきたところであります。今後は、今以上に町議会をはじめ町当局並びに

町民各位が一丸となり、関係市町村とともに力を合わせ、活性化に向け取組んでいかなければならないものと考えております。

町議会としましては、コロナ禍により世界が大きく変わろうとしている状況の中、私たち議会も変わっていかねばならないと考えております。時代とともに変化する住民ニーズを的確に把握し、地域の課題を掘り下げ、その山積する課題解決のため、通年議会制度をフルに活用し取り組んで参ります。また、町政の監視役としての議会の役割を十分に果たすため、議会報告会などを通じて皆さま方の声をお聞きし、より身近で開かれた議会を目指すとともに、集落の活性化や福祉の向上など、皆さま方の付託に応えられるよう、全力で、その責任を果たしてまいりますので、皆様には、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願い、新しい年が皆様にとりまして明るく希望に満ちた年となりますよう心から祈念申し上げます。まして、新年の挨拶といたします。



雪を見るたび
来なくなる

第49回

只見ふるさとの雪まつり

開催日

令和4年

2月12日(土)~13日(日)

前夜祭

~光と音のオープニングイベント~

2月11日(金)

2年ぶりの開催
大雪像は長岡城
入場門は慈眼寺仁王門
をイメージ

只見町の一大イベント「只見ふるさとの雪まつり」を2月12日、13日に開催します。昨年は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況から開催中止としたため、今年は2年ぶりの開催となります。49回目となる今年のキャッチフレーズは「雪を見るたび来なくなる〜復活 只見ふるさとの雪まつり〜」です。昨年開催を見送った雪まつりの「復活」と今年の秋に全線再開が見込まれている只見線の「復活」という2つの思いが込められています。雪まつりの目玉でもある大雪像は、「長岡城」をイメージして作成されます。国道289号八十里越道路の開通の見通しが示されたこと、また今年は河井継之助を主人公とした映画の公開を控えていることから、新潟県と繋がりを深め、交流の活性化に繋がることを祈念しています。

問合せ

只見ふるさとの雪まつり実行委員会（只見町役場観光商工課内）

TEL：0241-82-5240 FAX：0241-82-5235

Mail：yukimatsuri@town.tadami.lg.jp

私たちが今年の雪むすめです!

こばやし あすか
小林 明日香

森林の分校ふざわ勤務 只見

ばば ななこ
馬場 なな子

ただみコミュニティクラブ勤務 只見



今年の雪まつりは2年ぶりの開催となるため、町民の皆様をはじめ、多くの方々が楽しみにされていると思います。そんな今回の雪まつりを盛り上げるため全力でPRをしたいと思っています。

皆様と楽しめる雪まつりに出来るように頑張りますので、よろしくお願いいたします!

昨年4月から只見町に住み始めました。幼い頃に一度雪まつりに来たときに見た冬の花火に感動したことを今でも覚えています。

町内外沢山の方々の思いが詰まった雪まつりの「雪むすめ」として、多くの方々にPRできるように精一杯頑張ります! よろしくお願いたします。

雪まつりスケジュール(予定)

2月11日(金・祝)

前夜祭~光と音のオープニングイベント~

16:00 開場
17:00~ ステージイベント
17:30~ LEDスカイランタンイベント

●サブ会場① 只見スキー場

2月12日(土)~13日(日) 10:00
スノーモービル体験

●サブ会場② 只見振興センター

2月13日(日) 15:30
只見音研歌謡ショー

2月12日(土)

10:00 開場
10:30~ 開会式
11:00~ 梁取太々神楽
12:00~ 郷土芸能発表
13:30~ アーティストライブ
14:30~ ゲームイベント
16:00~ あっけらかんマジックショー
17:00~ 厄払いの儀 おんべ
19:00~ 祈願花火大会

2月13日(日)

10:00 開場
10:30~ 郷土芸能発表
12:00~ ステージイベント
13:00~ 会場イベント
14:00~ お笑い芸人!爆笑ライブ
15:00~ ステージイベント
17:00~ あっけらかんマジックショー
18:00~ 祈願花火大会

雪まつり
ホームページも
ぜひご覧ください!



くらしのミュージアム



(国道側から新築建物全景)

「ただみ・モノとくらしのミュージアム」概要と目的

国重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」の収蔵と展示、活用を図ります。会津只見見考古館も全面改修し、一体的施設として令和4年7月の開館を目指します。原始時代から現代までのモノ

と暮らしを通して、地域の生活・文化の変遷や、山や川などの自然環境との「共生の姿」を文化的特長と位置付け、展示公開し、学習・体験を通して、広くその情報や成果を発信する博物館とします。

また、歴史・文化観光拠点として、地域住民が文化資源を再認識・再評価し、その魅力を創出し、社会的・経済的価値を高め文化的交流により地域活性化を図ることを目的にします。

基本的運営方針(案)

1. 運営方法
只見町直営
2. 運営形態
登録博物館
(博物館法第10条、第12条)
博物館協議会の設置
(博物館法第20条)
3. 運営職員
館長・学芸員(必置・博物館法第3条)・会計年度任用職員
4. 入館料
無料(博物館法第23条)
5. 開館期間
通年
(開館時間) 午前9時から午後5時まで
(休館日) 毎週月曜日
6. 事業計画
基本的運営方針及び事業計画の策定
・博物館資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及活動等の実施に関する基本的運営方針を博物館協議会に諮り策定、公表します。
・基本的運営方針を踏まえて年度ごとに事業計画を策定し公表します。

地域住民との関わり

★博物館の展示機能を生かして、特産品をテーマとし地域住民が直接情報提供するなど企画展を実施

★つる細工や農耕漁労用具などの民具や仕事着など、只見ならではの製品や地域住民が関わり開発した商品の販売

★博物館を情報発信とツアーの拠点として地元のガイド案内人が町内の国指定旧五十嵐家住宅や県指定旧長谷部家住宅(叶津番所)などを文化財展示として整備し、歴史・文化観光の周遊メニューを提供(知的文化アクティビティの提供)
★屋外で、地元農家と連携し直売による農産物等の販売を行うなど地場産品を通じた地域内外の交流の促進



(民具収蔵庫内)

★国重文指定で特徴的な「只見方式」で収集整理された民具の使用法や思い出を町民自らが書き綴った13,000枚の「民俗資料調査カード」の活用

ただみ・モノとくらしのミュージアム勉強会

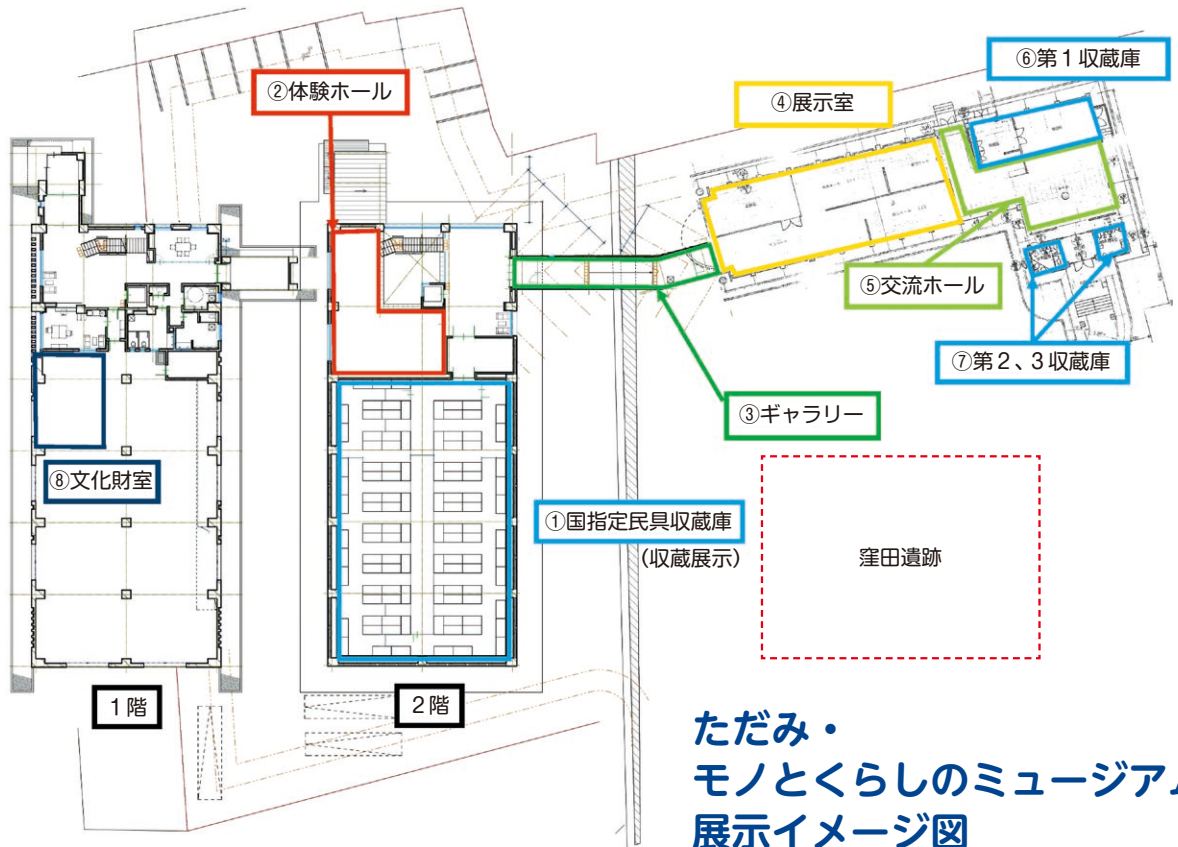
令和3年11月2日(火)に東洋大学講師久野俊彦氏(ただみ・モノとくらしのミュージアム準備検討委員・推進専門部会員)を講師に只見町協議会議員及び只見町庁議構成員合同の勉強会を実施しました。

勉強会では、只見町では初となる登録博物館を目指す意義や運営方針案を共有しました。また、博物館の定義や目的など基本的なことを学ぶとともに地域にとつての博物館の在り方や学芸員の必要性などについて学ぶことができ有意義な勉強会を実施することができました。



登録博物館を
目指す!!

ただみ・モノと



ただみ・
モノとくらしのミュージアム
展示イメージ図

展示内容について

- ① 国指定民具収蔵庫
国指定重要文化財2, 333点が収蔵展示されています。職員との立会いのもと内部見学可能です。
- ② 体験ホール
民具などを実際に使って体験するスペース。仕事着を着用し撮影するコーナーやつる細工やわら細工など手仕事を体験するコーナー、養蚕道具などを実際に使って体験するコーナーなどを予定しています。
- ③ ギャラリー
民具保存活用運動と国指定文化財に至るまでの民具収集の歩みの写真を展示します。
- ④ 展示室
考古、歴史、書物、民俗資料など只見町の歴史と文化、くらしの変遷がわかる展示をします。
- ⑤ 交流ホール
いろりを復元し、昔話や映像などを上映するコーナーです。
- ⑥ ⑦第1、第3収蔵庫
資料の収蔵庫です。
- ⑧ 文化財室
国指定重要文化財の民俗資料の調査やその他に収集した民具や文化財全般の調査を行います。

令和3年度工事等の進捗状況について

- ① 民具運搬作業 (9月完了)
国指定重要文化財2, 333点の民具を旧朝日公民館から「ただみ・モノとくらしのミュージアム」に運搬し収蔵しました。
 - ② 燻蒸作業 (10月完了)
運搬収蔵した民具の燻蒸(くんじょう)作業を実施しました。燻蒸とは：文化財の虫害対策で薬品による殺虫・殺卵処理を行うこと
 - ③ 外構工事 (11月完了)
駐車場を整備する外構工事を実施しました。
 - ④ 会津只見考古館改修工事 (1月完了予定)
会津只見考古館の内部を全面改修し一体的な施設とします。
- これらの工事が完了後に、展示工事を行ない、令和4年7月の開館を目指し整備を進めています。



信州大学 古民家調査

信州大学教育学部 森林生態学研究室 教授

井田 秀行

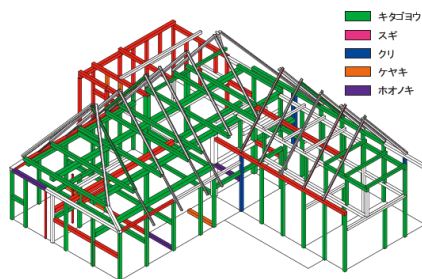


自宅の裏山から(長野県飯山市)。背景の家屋が自宅。

私は只見で、古民家の木材が何の木で作られて、その木がどこから調達されてきたのか、ということ明らかにする研究を、信州大学工学部の土本俊和教授の研究室とともに行っています。研究対象となる貴重な古民家が只見には150棟ほどあるため、平成27(2015)年から毎年、年に数回お邪魔しています。

調査でわかったこと

この6年間の調査で、町内の山々にある五葉松(キタゴヨウ)が、民家の柱や梁などにたくさん使われていることがわかりました。皆さまにとっては当たり前で普通のことかもしれませんが、五葉松を建材として利用する文化がこれだけ確認された地域は他にありません。只見独特の自然と人の関わりの地域文化として世界に誇れることだと言えます。



架構全体の木材種構成
木材の種類を色分けした古民家の骨組み

なぜ古民家を調べるのか？

木材や茅といった里山の資源をうまく利用した知恵を埋もれさせずに、これから先も役立てるようになるためです。気候がおかしくなってきた今日、できるだけ自然への負荷を減らした暮らしが求められてきています。昔ながらのやり方は手間も時間もかかるけれど、自然に負荷がかかることはほとんどありません。そう言い切れるのは私自身も古民家に住み、昔の知恵の奥深さを日々体感しているからです。

里山の資源を再び利用するには土地所有者の問題など制度的な改革が必要である一方、古民家の存在価値を科学的に示し、多くの人にそのことを理解してもらう必要があります。古い建物ゆえに歴史的文化財という価値だけではもったいないのです。只見での調査を通じて私は、自然と人の関わりを科学的に紐解くことの大切さをより強く感じるようになりました。

学生たちの貴重な学び場としても

只見では学生の卒業研究や、講義の一環で野外実習も行っています。これまで数十人の学生たちが、この地の自然と人の関わりを学んできました。その際お邪魔したお宅では、決まってお茶やお菓子でもてなしていただき、本当に感謝しております。一方で、学生が夜騒いだり、物を壊してしまったりと、ご迷惑をかけたこともしばしばです。時には温かな目で見守っていただき、時にはお叱りを受け、いろいろな意味で多くの学びがありました。

これからもたびたびお邪魔し、皆さまにお世話になるかと存じます。何卒よろしく願いいたします。

次頁は、現役学生および卒業生からのメッセージです。どうぞご覧ください。



学生実習での一コマ



阿部 伶奈

信州大学大学院 修士2年

私は2年前から只見でお世話になっており、これまで2棟の古民家の調査をさせていただきました。調査では、まず全体の図面を作製します。そして、柱や梁の一部から木片を採取し、その木片の細胞を観察することで、その部材がいったい何の樹種でできているのか、どういった理由・背景があって、その樹種が選択されたのか、ということ調べます。今年度末に提出する修士論文では、古民家のつくりや使用木材の特徴が、同じ只見町内でも立地によってどう違うのかを見出していきたいと考えています。

私は、この調査を通じて、只見町の皆さんの優しさに出会うことができました。リーダーとして何人かの

学生だけで実施した調査では数々の失態をしでかしてしまいましたが、「めげずに頑張っね!」、「応援してるよ!」と、優しい励ましの言葉をかけていただき心が救われる思いでした。

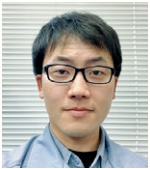
只見町ブナセンターの方々や古民家の所有者の方々、連泊でお世話になった旅館の方々、地域の方々、皆様のご協力のおかげで、この研究を進めることができております。貴重な経験の場を、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします!



図面の一例(古民家の断面図)



古民家調査の様子



佐藤 拓真

平成29(2017)年度 信州大学大学院卒業
現所属：北野建設株式会社

只見調査での思い出は、単独で一週間ほどかけてまるまる一棟の古民家の調査を行ったことです。心細さはありませんでしたが建物一棟を全て自分の手で実測調査したのが初めてだったため、良い勉強になりました。特に、軸組全てを把握することで木造の建物がどのように組まれているのか具体的にイメージすることができたため、専門書やテキストだけでは把握しづらいところまで勉強でき、大変なためになりました。

私は現在、工事現場の現場監督として、事務所ビルやリゾートホテルなど比較的大きな建物の工事に携わっています。多くの人とともに一つの建物を作り上げる仕事ですが、粘り強く仕事に取り組めるのは只見町での調査・研究の経験があったおかげだと思っています。

これからも一生懸命頑張ります。その節は大変ありがとうございました。



調査を終えて只見を後にする



陸川 雄太

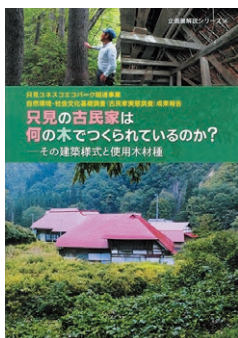
令和元(2019)年度 信州大学大学院卒業
現所属：積水ハウスリフォーム株式会社

只見町での調査では楽しいことから大変なことまでたくさんの経験をさせていただきました。特に記憶に残っていることは虫との闘いでしょうか。空き家の調査をさせていただく際は大きなスズメバチの巣を発見してビクビクしながら作業することも何度かありましたし、調査先のお家や宿泊する宿では大量発生するカメムシと絶えず格闘していた気がします。これも今となってはいい思い出です。

調査先の方との思い出も忘れられません。3時のおやつと言って食べ切れないようなお菓子や漬物をご馳走になったり(笑)、調査が終わって帰る日に泣きそうな顔で別れを惜しんでいただいたり、今思い出しても心が温まります。

そして迷惑をかけてしまうこともありました。調査の最終日、調査が長引いてしまい、急いで片付けを済ませて長野に戻ってきたら、電気が点けばなしの部屋があるとの連絡……。調査に協力していただいたにも関わらず礼を欠いたことをしてしまい申し訳ない気持ちでいっぱい、自分の確認不足を大変悔やみました。こうした経験を踏まえ、今は、お世話になった方への感謝を忘れず、相手の立場に立って丁寧な仕事をするように心がけています。私は現在、住宅のリフォームの仕事をしており、これらの経験はお客さんが住んでいるなかで工事をする住宅リフォームの仕事をする上で大いに活かされています。

只見町での調査を通じて、楽しいことから勉強になったことまでたくさんの経験をさせていただきました。その経験を活かしてこれからも頑張っていきたいと思っております。お世話になった只見町の皆様、本当にありがとうございました。



調査結果をまとめた
ブックレットを
ブナセンターで
販売しています

「町民の生活の安全を守る」

「除雪会議・始動式」開催

令和3年度第1回目の除雪会議を11月22日に役場町下庁舎で開催し、除雪委託業者など関係者が出席しました。

渡部町長は「冬の生活は皆さんの除雪作業があつてのもので。力を合わせてやっていきたいと考えています。よろしく願います」と述べました。その後、今シーズンの除雪路線の確認などを行いました。

会議終了後は、只見ステーションで除雪始動式を開き、期間中の安全祈願をしました。



除雪会議の様子



始動式の様子

「只見小学校で教育研究を深める」

「令和3年度ESD・海洋教育公開授業研究会」開催

「令和3年度ESD・海洋教育公開授業」が11月19日に只見小学校で開催され、町内外の教育関係者が参加しました。

公開授業は「森の植物をさがそう」（3・4年生）と「オリジナル料理を調理してみよう」（5・6年生）をテーマに行われ、参加者は様々な視点から課題や成果を確認しました。

授業後は、参加者による意見交換や質疑応答などが行われ、ESDの推進を図りました。



▲海洋教育についてのパネルディスカッションも行われました

「朝日小学校が「特選」

「教職員研究論文」表彰式開催

福島県教育委員会が主催する「福島県教職員研究論文」の表彰式が、12月3日に役場町下庁舎で行われ、朝日小学校が「特選」として表彰を受けました。これは、教職員の自主的な研究を奨励し、研究意欲や専門性を高めることを目的に実施されているもので、朝日小のESDの実践内容などが評価されたものです。

南会津教育事務所の西牧所長は「平日頃から熱い情熱を持った教育に敬意を表します」とあいさつしました。



▲表彰状を受け取った朝日小・米畑校長先生（前中央）

「優良PTA」

「明和小学校父母と教師の会 文部科学大臣表彰」受表彰

只見町立明和小学校父母と教師の会が、令和3年度「優良PTA文部科学大臣表彰」を受表彰しました。この表彰は、PTAの健全な育成と発展に資することを目的として、毎年度表彰を行っているものです。

今回の受表彰は「地域の伝統や課題を踏まえた特色ある教育活動」や「親子で学ぶ機会を積極的に設け、児童が主体となって活動するよう企画していること」などが評価されました。



▲菅家校長先生と角田PTA副会長が、受表彰報告に町下庁舎を訪れました

**只見地区区長連絡会
景観改善・整備を要望**

只見地区区長連絡会は、電源開発(株)田子倉電力所長に「国道252号沿いの景観保全と眺望確保についての要望書」を提出しました。要



▲石伏地区内 整備前(左)と整備後(右)



▲塩沢地区内 整備前(左)と整備後(右)



望内容としては、只見ダムと滝ダム周辺の景観や眺望の改善・整備を要望したものです。
この結果、令和2年度に石伏地区内(只見ダム周辺)、令和3年度に塩沢地区内(滝ダム上流部)の景観が改善され、国道や只見線からの眺望が開けました。



▲これからも交通安全活動へのご協力をお願いします

**町民の交通安全に努めました
「交通事故死亡者ゼロ
2000日達成」を表彰**

只見町が交通事故死亡者ゼロ2000日を達成し、表彰状伝達式が役場町下庁舎で行われました。
只見町では、平成28年5月21日に国道で起きたオートバイ事故を最後に交通事故死亡事故は発生しておらず、11月12日午前0時に達成しました。
表彰状を受け取った渡部町長は「関係機関のお力添えや皆様の意識のおかげで達成できたことだと思えます。これからも町一丸となって交通事故防止に努めます」とあいさつしました。



▲井出副知事に要望書を手渡しました

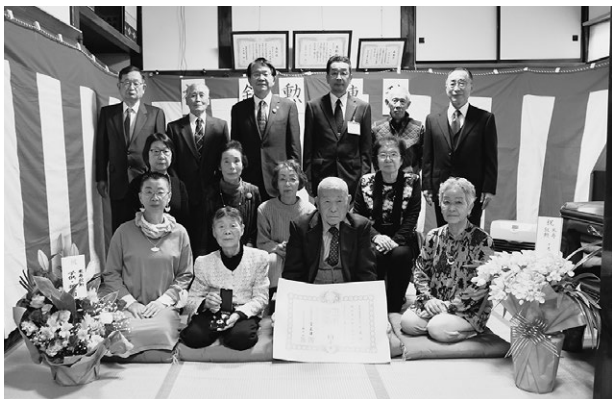
**地域住民の安全で安心な生活確保のため
県道小林・館の川線改良促進
期成同盟会などが県に要望**

県道小林・館の川線改良促進期成同盟会は要望活動のため、12月2日に南会津建設事務所、福島県庁を訪問しました。

今回の訪問では、落石の恐れや冬季通行不可になる小林・亀岡区間の未改良区間間の整備と雪崩の恐れがあるため冬季通行止めとなる熊倉・荒島間の冬の交通確保について要望しました。
他に隣町村と繋がる県道改修の要望のため、只見・金山・昭和・三島県道改修促進期成同盟会が、11月25日に南会津建設事務所、会津若松建設事務所、県庁を訪問しました。

長年の功績が称えられました

大竹穂積さんが旭日単光章を受章



▲ご家族の皆さんと一緒に受章を喜びました

元只見町議会議員の大竹穂積さん（梁取）が高齢者叙勲（旭日単光章）を受章され、11月22日に伝達式が行われました。

大竹さんは、只見町議会議員を平成4年4月20日から平成24年4月19日までの5期20年にわたり務め上げ、地方自治の発展に尽力されました。

今回の受章について渡部町長から「只見町の発展のために長きにわたりご尽力いただき、ありがとうございます。また、それを支えてきたご家族の皆様にも感謝します」とお祝いの言葉を贈りました。

祝100歳おめでとうございます！

飯塚トクノさんに知事賀寿を贈呈

飯塚トクノさん（大倉）の賀寿を記念した知事賀寿の贈呈式が、12月3日にグループホーム和の里で行われました。

飯塚さんには、賀寿賞状や木杯、お祝い金などが贈られ、ご家族の方や和の里の皆さんと賀寿を祝いました。

飯塚さんは「若い頃に農業で足腰を鍛えたことや食事を3食しっかり食べることが長寿の秘訣」と答えました。



▲これからも長生きしてくださいね！

田中浩康氏が来町

「野球・ソフトボール教室」開催



▲最後は田中コーチと参加した皆さんで記念撮影をしました

横浜DeNAベイスターズコーチ田中浩康（たなかひろやす）氏を講師に小中学生などを対象とした「野球・ソフトボール教室」が、12月4日に只見町民体育館で開催されました。

教室では、ソフトボールや野球で必要な体作りのためのトレーニングなどを実践しながら学びました。

参加者は「プロ野球でコーチをしている田中さんに指導いただけたのは貴重な体験になりました。明日からの練習に生かしたいと思います」と話しました。

柏市から只見町を応援

「永楽台ふるさと協議会」が只見町の特産品を販売



▲永楽台ふるさと協議会の皆さんに只見町のPRをしていただきました

只見町とふるさと交流都市を提携する千葉県柏市の「永楽台近隣センター」で只見町の特産品販売が行われました。この特産品販売では新型コロナウイルス感染症防止のため、カタログで注文し販売する方式がとられました。

この取り組みは、「永楽台ふるさと協議会」の皆さんの「只見町の応援のため、コロナ禍で中止となった只見町物産展に代わる何かを開催したい」という声から只見町観光まちづくり協会と共同で実施されたものです。昨年からはじめた取り組みで今年で2回目となりました。

多くの方から好評を受け、町のPRにつながりました。

柏市の小学校と交流を深めました

学校給食用食材交換事業

ふるさと交流都市千葉県柏市と只見町が行う「学校給食用食材交換事業」として、町内の小中学校の給食で柏市産ブルーベリーを使ったジャムが提供されました。只見町からは只見産米「コシヒカリ」を柏市立柏第八小学校へ提供しました。

平成24年度から行われているこの事業は、両市町の主要農産物を交換し、交流と食育の推進を図るものです。

明和小では、柏第八小学校とオンラインで繋ぎ、お互いの給食の感想を交換し、食材をとおして交流が深められました。



▲「ブルーベリージャムがとてもおいしかったです」と柏第八小学校に伝えました

人権について考える

朝日小学校「人権教室」開催



▲グループワークで出された意見をリーダーがまとめ、最後に発表しました

朝日小学校の人権教室が12月9日に開かれ、児童たちが人権や暴力について学びました。

教室では、只見町人権擁護委員の角田行雄さん（小林）と鈴木美穂さん（只見）が講師を務め、イラストなどで人権や暴力がどういうものかを説明し、グループワークが行われました。

児童達は「自分が傷つくことはしないように心掛けて、もし誰かを傷つけてしまった時は心から謝る。また、お互いを認め合うことや折合いをつけることが大切だと思います」と学習の成果を発表しました。

メリークリスマス！「朝日クリスマス会」開催



▲サンタさんと記念撮影をした子どもたち

「朝日クリスマス会」を12月5日に開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、ドライブスルー方式のプレゼント配布のみとしたため、クリスマス会としては2年ぶりの開催となりました。

クリスマス会では、映画鑑賞やビンゴ大会、プレゼント交換などが行われ、サンタさんが登場すると子どもたちから喜びの声があがりました。

最後にサンタさんと記念撮影をし、笑顔があふれるクリスマス会となりました。

冬のイベントを楽しみました

町内3保育所「クリスマス会」&「もちつき誕生会」

町内3保育所で「クリスマス会」（朝日・明和／12月10日、只見／14日）や「もちつき誕生会」（3保育所／16日）が行われました。

「クリスマス会」では、クリスマスの由来を学んだり、火の子と一緒に良い子になることを約束しました。他にも園児一人一人がサンタさんからプレゼントをもらいました。

「もちつき誕生会」では、お正月におもちをつく由来などを学び、さくら組の子どもたちがもちつきを体験しました。



▲火の子と一緒におうちの人の言うことをちゃんと聞くことを約束しました（朝日保育所）



▲サンタさんの登場に喜ぶ園児たち（明和保育所）



▲「よいしょ！」の掛け声でおもちつきをしました（只見保育所）



▲報告に訪れた新國真也さん(左)・美紀さん(中央)

第62回福島県農業賞

(株)新国農園が受賞報告

福島県内の農業賞として最も権威ある賞「福島県農業賞」に(株)新国農園が選ばれ、12月3日に受賞報告に役場を訪れました。この賞は、後継者育成などに積極的に取り組み、地域の模範となる経営を実施する方を対象に表彰をするものです。

新國真也さんは「後継者を育成し、只見町の農地が今後も継続して作付されるような土台を作っていき、米粉の加工品(麺、パスタ)の販路を広げたいと考えています。今年から道路除雪も請負いますので、冬期間の従業員雇用にも努めたいです」と抱負を述べました。

甲子園出場まであと一歩

只見高校「21世紀枠 東北地区推薦校」に選出

第94回選抜高等学校野球大会の「21世紀枠東北地区推薦校」に只見高校野球部が選ばれ、12月14日に表彰式が開催されました。表彰式は同校で行われ、福島県高野連の松浦冬樹会長から記念盾が贈られました。

吉津壘主将は「責任と自覚を感じています。全国で戦えるチームになるため、身体づくりに力を入れていきたいです」と話しました。

21世紀枠として出場ができる3校は、1月28日の最終選考で各地区推薦校9校の中から選出されます。



▲東北地区推薦校に選出された只見高校野球部

ウィンタースポーツのシーズン到来 只見スキー場オープン式



▲来賓の方や関係者などがテープカットを行いました

今シーズンの無事故を祈願して只見スキー場オープン式が、12月17日に只見スキー場ロッジで行われました。

スキー場を経営する(株)会津ただみ振興公社の新國社長のあいさつに続き、渡部町長からお祝いの言葉が述べられた後、大塚議長の音頭で乾杯が行われました。最後にテープカットでオープンをお祝いしました。

昨年只見スキー場は、「索道事業無事故表彰」を受けており、安心して楽しめるスキー場です。

「森林の分校ふざわ」の12月分校で過ごすイベント 「雪囲いの板に絵を描こう!」を開催



▲完成した雪囲い板と記念撮影をしました

12月分校で過ごすイベントの第1回「雪囲いの板に絵を描こう!」が、12月11日~12日に開催されました。

今回のイベントは、「冬の間、雪囲い板に囲まれて暗くなってしまうイメージを何とかして払拭できないか」と企画されたもので、参加者たちはチョークを使い、雪囲い板を色鮮やかに仕上げました。

参加者は「雪囲い板に絵を描くのが楽しかった。お昼の雪だるまカレーも可愛くつくれました」と楽しい一日を過ごしました。

ブナりん健康ポイント

50ポイント・100ポイント到達おめでとうございます!

「ブナりん健康ポイント制度」は、高齢者の皆さんが健康づくりや介護予防のために、健康講座や各種検診等に参加すると1回参加で1ポイントずつ加算され、ポイントに応じて健康グッズ等と交換できる制度です。今回は50ポイント、100ポイントを達成された方を紹介します。

これからもサロンや健康講座に参加して、健康に長生きしてくださいね。

100ポイント達成



角田和子さん (布沢)

50ポイント達成



角田岑子さん (小林)



虫歯のない子

(12月21日 3歳児検診)



さん べ ゆり
三瓶 悠里さん
(叶津)



あき ゆいこ
青木 結依子さん
(小川)



さとう 蒼乃のすけ
佐藤 蒼乃佑くん
(大倉)



わかやま げん
若山 元くん
(黒谷)



ばば あらし
馬場 新士くん
(蒲生)



EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2021 ジャパン (株)会津工場 鈴木直記社長 「エクセプションナル・グロース賞」受賞



(株)会津工場 代表取締役社長 鈴木直記さん

只見高校を卒業後、1979年に(株)会津工場に就職。取締役営業部長や取締役工場長を歴任し、平成22年から代表取締役社長に就任。

EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーとは

事業家の努力と功績をたたえ、より良い社会の構築と後進の事業家の育成に寄与することを目的に開催されています。地区大会、全国大会、世界大会が行われています。

(株)会津工場の鈴木直記さんが、10月6日に開催されたEYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー東北地区大会でグランプリ、また12月6日に開催された全国大会でエクセプションナル・グロース賞に選ばれました。

今回は、鈴木さんにアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーに選ばれた際の心境などについてインタビューしました。

— アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーの東北グランプリに選ばれた際の心境を教えてください —

「東北代表になるとは思ってもみなかったです」

最初はどのような企業、人が集まってくるのかに興味がありました。アントレプレナー・オブ・ザ・イヤーが大きなイベントということは知っていましたが、声をかけてもらったときは東北代表になるとは全然考えてもいなかったですね。東北地区グランプリに私の名前が呼ばれたときは大変驚きました。「え、本当に？」という感じでした。他の2者の取り組みはユニーク、かつグローバルに展開をされていて、私がグランプリに選ばれるとは全く思っていませんでした。審査員の講評の中では、この地に根を張って事業展開をしているという地域への貢献度の部分を高く評価していただけたようです。

— 全国大会はどうでしたか —

「日本を代表する企業家と同じ土俵に上がれて光栄でした」

他の企業家のユニークな取り組みや仕事に対する姿勢、仕事への視点に感心しました。皆さん個性的でそれで結果も出ていて「私は、なんでこんなところにいるのだろう？」と思いました。良い意味でとがっている企業さんのお話は大変勉強になりましたし、日本を代表するような企業家と同じ土俵に上がったのは非常に光栄でした。

— 会津工場はどんな企業ですか —

「『勝手に試作』を武器に、攻めの姿勢を大事にやってきました」

「勝手に試作」ということをやってきました。鋳物は中国などの海外でも生産していますので、価格競争の市場となりがちです。そこで戦うのが嫌でした。無理して注文を取っても採算が合わないとかですね。だから、どこにも負けない真似できない高品質の鋳物を作ってメーカーに直接営業に行きました。「会津工場がこの部品を作れば、どこにも負けない精度のものが作れますよ」とメーカーが絶対喜ぶような試作品を勝手に試作して提案しに行くんです。

また会津工場は世界に唯一の工法（Hプロセス工法）を持っています。どこにも真似できない肉薄軽量で高品質な鋳物が作れます。工数も減らせて、材料費も安く済ませることができます。

「勝手に試作」と「Hプロセス工法」を武器にした攻めの姿勢を大事にしてきました。

— 鈴木社長（会津工場）の今後の目標を教えてください —

「会津から世界を目指す」企業へ

「会津から世界を目指す」をスローガンにしていますので、ここ（会津工場、南郷工場）を核にして、世界に展開（生産拠点を海外にも展開）していきたいと考えています。会津工場唯一のHプロセス工法ですが、やがてこの工法がグローバルスタンダードになれるような日を夢見てやっています。どこまで行けるか分からないですけどね。世界を目指す。夢は大きく持っています。

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 わかやま 若山 たかし 隆



新年あけましておめでとうございます！昨年は全国的に新型コロナウイルスが大流行した際も只見町では大きな流行が見られずに済みました。町民のみなさまの感染対策（マスク着用、3密回避）やコロナワクチン接種率が高かったことが大きかったと思います。ありがとうございます。

今回のお話は前回に引き続いて、3回目の新型コロナワクチン接種についてです。これまでに分かっている3回目コロナワクチンのまとめです。

対象者：新型コロナウイルスワクチン2回目接種後8か月経過している18歳以上の方

有効性：2回だけ接種した人とくらべ、3回目接種すると、発症予防効果が95.6%、重症化予防効果が92%、死亡抑制効果が81%認められる。話題の変異株オミクロンに対する予防効果もありそう。

副反応：2回目接種時の副反応と同程度（接種部位の痛み80%程度、倦怠感60%程度、頭痛・筋肉痛40-50%程度、その他発熱など）10-20代の男性は、心筋炎という副反応が見られることがまれにあるが、軽症例が多い。

費用：無料

接種方法：町からの広報をご確認ください。

なお、只見町では、新型コロナワクチン1回目、2回目ともファイザーのワクチンを接種していましたが、3回目接種は国からの配送により武田・モデルナのワクチンになるかもしれません。3回目にファイザーか武田・モデルナのワクチン接種することの比較では、有効性はほとんど同等（ほんのわずかに武田・モデルナが良好かもしれない）とされ、副反応も、発熱・だるさ・痛みなどの頻度もよく似ています。若年者の心筋炎の副反応は武田・モデルナ製でわずかに多いとされます。只見町での3回目コロナワクチン接種の際は、有効期限内に破棄することなくワクチンを使い切るため、投与間違いを避けるために、どちらのワクチンを接種するかは基本的には選ぶことができませんので、どうかご了承ください。

地域おこし協力隊として Vol.85

会津の食とSDGs

只見町教育振興協力隊 すすき 鈴木 ゆうじ 裕司



新年あけましておめでとうございます。今年の干支は「干寅（みずのえとら）」。厳しい冬を越え、芽吹き始め、成長する年と言われます。感染症が落ち着き、新たな生活様式に期待ができる1年であることを願うばかりです。

さて、今回は町内小中学校を中心に取り組んでいるSDGsについて難しく考えずに、食との関連に着目してみました。

昨年11月、「食育」の一環で、町の方が山村留学生の住む寮で“ただみのざく煮”を振舞いました。具材の中に鰯(にしん)が入っていることに多くの寮生が驚いていました。冬は雪深く、海も遠い会津では、新鮮な海産物の入手が難しく、乾物など長く保存が効く食材が使われたこと、鰯や鯉は貴重なたんぱく源だった等々。「食育」はSDGsの取り組みの一つでもあり、こうした機会が、会津の食文化も知るきっかけになれば、と思います。

17の大きな目標と169のターゲット（指標）を実現するために資源や環境を壊さずに今の生活をもっと良くするための目標がSDGs。

あまり深く考えなくても 実は普段の生活で実践できていることが多かったり、先人に学ぶべきこともまだまだ沢山あるかもしれません。例えば、冬が旬の大根の調理法。大根そのものはいろんな料理に使い、皮はきんぴらなどに、大根の葉は漬けたりすることで余すことなく使いきれます。ちなみに漬けた大根の葉「(通称)漬け菜」。蒲生に住んでいた伯母が毎年漬けた菜は納豆に混ぜ「漬け菜納豆」として炊き立てのご飯と共に頂く我が家の冬の“ごつつお”でした。

大根という一つの食材の調理法を見てもSDGs.12「つくる責任、つかう責任」食品ロス「減らすこと、なくすこと」「地産地消（土産土法）」の実践例として当てはまります。

只見町の小中学校はユネスコスクールとして認定され、山に囲まれた豪雪地帯でありながら海洋教育など様々な取り組みを行っています。只見高校でも小中学校と連携してグローバルリーダー（地域のことを考え実践できる人材）の育成に取り組んでいます。我々大人も今出来ることを少しずつ実践していきたいものです。

只見ユネスコエコパーク Q&A(2)

Q

ユネスコ世界自然遺産とユネスコエコパークの違いは何ですか？

A

世界自然遺産の目的は、“世界の貴重な自然環境を人類共有の遺産として、厳正に保護・保存をすること”です。登録においては「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(世界遺産条約)の義務と法的な手続きのもと厳しい審査が行われます。また、条約締結国はその責任において登録された遺産の保護管理状況を監視します。言い換えれば、登録地は条約によって厳しく管理されます。

一方、ユネスコエコパークは、世界自然遺産と同様に地域の自然の保護・保全を図ることはもちろんですが、それだけでなく、地域資源を持続可能な形で利用し、自然と人間とが良好に生きていく関係を見つけることが目的となっています。また、条約に基づかないユネスコの事業の枠内で実施され、地域の事情を活かして地域が主体となって管理運営を行うことも特徴です。

只見町の豊かな自然は、人を寄せ付けない厳しい環境として残されてきたのではなく、むしろ狩猟、採取、漁労など住民による資源利用が昔から行われ、そうした利用が持続可能で適切なものであったために守られてきました。2000年代に只見町でも世界自然遺産への登録に取り組んだ経過もありましたが、世界遺産に登録されると、世界遺産条約のもとで人々の自然環境への立ち入りを制限され、これまでの人と自然との歴史的な関わりが完全に断ち切られるのではないかと心配がありました。他方、ユネスコエコパークは、人と自然との関わりを重視する制度で、むしろ只見町のような地域には世界自然遺産よりもユネスコエコパークのほうが相応しいだろう、ということでユネスコエコパーク登録を目指すこととなりました。

ユネスコエコパーク		世界自然遺産
人と世界的にも貴重な自然が共生する地域	対 象	世界的にも貴重な価値を有する自然
生物多様性の保護・保全、地域の持続可能な発展	目 的	貴重な自然の保護・保存
地域が主体の管理運営	管理主体	国による管理
ユネスコMAB計画	条約等の根拠	世界遺産条約

Q

只見ユネスコエコパークの範囲は？

A

ユネスコエコパークというと、公園があるのではないかなどと勘違いされますが、只見町全域と隣接する檜枝岐村の一部が只見ユネスコエコパークとなっています。そして、この範囲にある私達の自然環境や生物多様性とそれらと関わる伝統的な暮らしや文化、自然環境に配慮した産業などの人間活動が只見ユネスコエコパークの魅力であり、価値になっています。

町民文芸



只見短歌会 令和三年十二月詠草

かたくなに老い行く我と思ふ日日淋しき歌のみ浮かびて来るも
馬場 八智

身内より新米旨く太りそうと電話に礼の声弾みけり
目黒 富子

車窓より眺む塩沢の川の面に白鳥群れゐて心安らぐ
関谷登美子

金木犀荷造りすればその香り店に広がり心やはらぐ
新国由紀子

このスカーフ私染めしと持ちくれし笑顔の友の形見となりぬ
渡部ヨリ子

見に行けぬ我にと孫嫁保育所の運動会のビデオを流す
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会 十二月定例会

青空に缺差し出す松手入れ
追いかけて我も負けじと紅葉祭
都

しぐるるや山裾長き只見川
手渡され野菜の凍てを抱きけり
一 恵

雪晴れの景色まばゆき朝餉かな
初雪に我が薔薇囲う夫ありて
真理子

大櫓に集う色鳥縁ありて
白鳥のV字描きて罫へと
紺 青

介護より帰りし車窓の冬景色
柵の赤い実みごとな冬の庭
妙 子

ともかくも八十八や去年今年
聞き取れぬマスクの会話外は雪
恒 夫

日高俊平太 指導

冬に入るすっぽり靄につつまれて
上流にダム二つ置く神の留守
礼

栗毛髪生え揃えきて鏡餅
一週間ときめて水やるシクラメン
一 穂

夕陽浴び銀杏散るなり赤鳥居
剥きやすき里芋選り宅急便
修 二

思い出を畳みながらの冬支度
巖冬や猫のごとくに温もりぬ
信

○日高 俊平太 先生
俳句会「航」の副主宰。鹿児島県出身。
多くの句集を出版されるときも、「俳
句表現の不思議」(文芸社)などの著書も
あり、俳句の普及に努めておられます。



今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 1月25日までに納めましょう
- 町県民税(4期)
 - 固定資産税(4期)
 - 農集排使用料(1月分)
 - 後期高齢者保険料(6期)

お知らせ

新奨学金「只見町みらいの人財育成奨学金」令和4年度奨学生募集

町では、優秀な人材を育成するために無利子で奨学金を貸与しています。今回、新しい奨学金制度としてスタートし、これまでの「只見町奨学金」利用者も含めて将来町に戻ってきた際に返還を免除することができるようになりました。

一 奨学金の対象

令和4年度に高等学校、短期大学、大学又は専門学校などに進学希望者で、品行が正しく、学術に優れている方。

二 奨学金貸与の条件

- 只見町内に3年以上引き続き住所を有し、只見町立中学校を卒業し、向学の意思があること
- 貸与申請時に必要となる連帯保証人、生計維持者が只見町内に住所を有すること

三 利用可能額(貸与額)

- 高等学校 月額1万2千円以内
- 4年制大学、短期大学、専門学校等/月額4万円以内

※支度金(高等学校を除く) 入学時のみ/30万円以内

四 奨学金の返還

卒業または奨学金の利用をやめた月から30歳に到達する年までの期間を据え置き期間とし、その後10年以内で返還していただきます。

五 返還免除

据え置き期間内もしくは終了後に只見町に戻ってきた場合、申請により年度ごとの返還金を免除することができま。 (免除の年間上限額は22万2000円) 詳細についてはお問合せください。

六 申込方法

募集要項は只見町役場駅前庁舎窓口、教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見高校、南会津高校、町内の各郵便局、東邦銀行只見支店、J A会津よつば只見支店に設置してあります。必要書類を添えて教育委員会へ申請してください。

七 募集期間

令和4年2月16日(水)まで

八 採用通知

書類審査・面接後、結果を本人に通知します。通知は3月中旬の予定です。

九 問合せ先

只見町教育委員会
☎82-5320

保健師、助産師、看護師などを旨す奨学生募集

一 対象となる職種

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

二 奨学金貸与の条件

○法に基づき指定された対象となる職種の要請施設に在学または所在している(予定含む)こと

○養成施設に合格時点を含め、入学以前に6か月以上引き続き只見町に住所又は本籍を有すること

○申請する者の保護者が只見町に住所を有すること

○国又は他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていないこと

三 貸与額 月額10万円以内

四 奨学金の返還及び免除

奨学金貸与条例により原則として貸与期間満了の1年後から10年以内に返還することになります。ただし、資格取得しその職種で只見町の任期の定めのない職員として就職した時は、返還期間中の従事期間に応じた額が免除されます。(町職員として就職するまでに納期の到来した返還額と返還済額は免除対象となりません)

六 申込方法

奨学金貸与申請書に住民票抄本(申請者と保護者)、履歴書、健康診断書、在学中の学校からの推薦書、養成施設の在学証明書(進学予定は合格通知書写し)を添えて保健福祉課係に提出してください。

七 募集期間

令和4年2月10日(木)まで

九 問合せ先

保健福祉課係
☎84-5320

県立テクノアカデミー会津「個別進路相談会」

会津地域で就職を目指す高校生やその保護者の方等を対象とした「個別進路相談会」を開催します。事前申請は不要ですので、お気軽にご参加ください。

〇日時

- ①令和4年1月23日(日) 午前10時から午後1時
- ②令和4年2月27日(日) 午前10時から午後1時

〇場所

喜多方市塩川町御殿場4丁目16番地 県立テクノアカデミー会津
☎0241-2713221

〇対象者

高校生(学年問わず)と保護者、または会津地域で就職を考える若年者の方

〇その他

詳細はホームページ(検索・テクノアカデミー会津)をご覧ください。

1月・2月は 「はたちの献血」 キャンペーン期間です

1月・2月は「はたちの献血」キャンペーン期間です。

「献血」とは、病気やケガで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。

少子高齢化で献血可能人口が減少し続ける中、若い世代からの協力が得られないと、将来必要な血液量を確保できなくなるおそれがあります。

そのため、厚生労働省、都道府県及び日本赤十字社は、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として若い世代に献血に関する理解と協力が得られるよう、全国各地でキャンペーンを行います。

キャッチフレーズ

「あなたの今日が、
だれかの明日に。
はたちの献血」

只見高校に デイカウンを設置

12月24日、只見高校にデイカウンターが設置されました。このデイカウンは、東京2020パラリンピックで使用され、県から町に贈与されたものです。

現在は、1月28日の21世紀枠最終選考委員会までの日数を表示しています。下段のモニターには、只見高校野球部の練習風景などが表示されており、町外から訪問された方にも野球部の頑張っている姿がご覧いただけます。

今後、最終選考会で選抜高等学校野球大会への出場が決まった際には、春季大会開催までの日数が表示されるようになります。



町長スケジュール (12月分)

- 1日 滝調整池堆砂対策連絡協議会、12月補正予算町長査定
- 2日 県道小林館の川線改良促進期成同盟会要望活動(南会津町、福島市)
- 3日 福島県農業賞受賞報告(株新国農園)、議会経済文教常任委員会、只見町建設業協会役員来庁、百歳高齢者賀寿贈呈式、福島県統計調査員功労者表彰伝達式
- 4日 (株)只見町商業協同組合懇談会
- 6日 議案検討庁議
- 8日 只見ふるさとの雪まつり実行委員会、只見町区長連絡協議会研修会、(株)季の郷湯ら里取締役会
- 9日 一般質問検討庁議
- 10日 郡山国道事務所長・南会津建設事務所長他来庁、KFB役員挨拶及びCM大賞ベストパフォーマンス賞表彰式
- 13日 モンベルとのオンライン会議、ふくしま駅伝競走大会只見町チーム結果報告

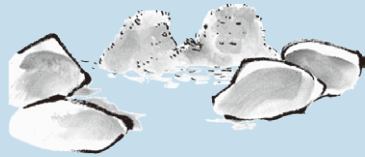
- 14日 只見町議会12月会議(～17日)
- 16日 雪むすめ挨拶来庁
- 17日 只見スキー場オープン式
- 20日 南会津建設事務所長来庁、東北電力ネットワークセンター(株)田島電力センター所長他挨拶来庁、只見高校野球部春の選抜甲子園21世紀枠東北地区代表決定報告来庁
- 21日 (福)南会津会理理事会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、県立南会津病院院長年末挨拶表敬訪問
- 22日 朝日小学校総合学習発表会、只見町民生児童委員協議会懇談会
- 23日 奥会津振興センター事務局長来庁、ALSOK取締役役員他年末挨拶来庁、佐久間建設(株)年末挨拶来庁、明治安田生命保険相互会社郡山支社坂下営業所長来庁
- 24日 電源開発(株)東日本支店長他年末挨拶来庁、総合教育会議
- 28日 仕事納めの式(役場、あさひヶ丘)、南会津地方環境衛生組合仕事納めの式(於：下郷町)

町民の消息

(11月26日～12月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

山内 節	88歳	小林
馬場 マキコ	83歳	黒谷
渡部 宗一	85歳	福井
五十嵐 剛	91歳	蒲生
船木 利市	78歳	黒谷
馬場 志津	88歳	塩ノ岐
皆川 リヨ	92歳	只見
湯田 菊恵	95歳	只見
佐藤 由一	93歳	入叶津



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和3年12月1日現在

人口	3,930	世帯数	1,608
男	1,930	高齢化率	47.1%
女	2,000		

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。
※令和2年度国勢調査の確定値に修正したため、増減値の記載はありません。

転入 8 転出 5 出生 1 死亡 12

▽あけましておめでとうござい
ます。読みやすい広報紙を目指
して頑張りたいと思いますので、
本年も「広報ただみ」をよろし
くお願いいたします。
▽今年の雪まつりは開催の方向
で準備が進んでいます。2年ぶ
りの開催に多くの方が楽しみに
しているのではないかと思います。
新型コロナウイルスがこれ以上拡大
せずに、無事に開催できること
を願っています。

(小林)

あとがき

只見振興センター 図書紹介

只見振興センター図書室
☎82-2141
新国 妙子

おすすめ新着図書

★透明な螺旋



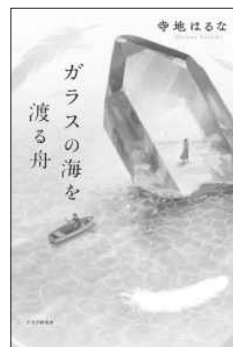
東野圭吾／著(文藝春秋)
シリーズ第十弾
今、明かされる「ガリレ
オの真実」
房総沖で男性の銃殺遺体
が見つかった。
失踪した恋人の行方をた
どると、関係者として天才
物理学者の名が浮上した。
警視庁の刑事・草薙は、
横須賀の両親のもとで過ご

す湯川学を訪ねる。

「愛する人を守ることは罪なのか」

ガリレオシリーズ最大の秘密が明かされる。

★ガラスの海を渡る舟



寺地はるな／著
(PHP研究所)

脆くて、同じものは一つ
もない。人生はまるで、ガ
ラスみたいだ。

みんなと同じ行動がとれ
ず、他人から疎まれてしま
いがちな兄の道。

落ちこぼれでも優等生で
もなく、なんでも平均的に
こなせるけど、「特別な

なにか」が見つからない妹の羽衣子。祖父の遺言
をきっかけに、ともにガラス工房を引き継ぐこ
とになったけど……。

相容れない二人の絆の行方とは一。

大阪・空堀商店街にあるガラス工房で兄妹が
過ごした、愛おしい10年間を描く感動の物語。

○只見振興センターではリクエストを随時受付しています。
読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

町民憲章

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



ハイタカ

(学名: *Accipiter nisus*)

(写真・文 太田祥作)

【タカ目タカ科】



▲ 幼鳥 / 全体的に褐色で眉に似た眉斑が目立つ



▲ 雄の成鳥 / 上空を飛翔する姿は橙色を帯びて美しい

「新春に縁起の良い鷹」として、冬の只見でも観察できるハイタカを紹介します。ハイタカは日本全国に分布する猛禽類の1種です。只見町では通年見られますが、特に冬は、集落や農耕地の周辺に姿を現すため観察しやすくなります。名前は「はしたか」が転じたもので、「疾い鷹」に由来する説などがあります。

大きさはハトと同じくらいで、猛禽類としては小型ですが、小鳥を専門に狩る優れたハンターでもあります。幅が広く短い翼と小柄な体は、飛行中の急な方向転換に対応できるため、障害物の多い林内で敏捷な小鳥を追うような狩りをも可能にするのです。小鳥の群れを観察しているとハイタカが現れ、一目散に群れが逃げていく光景もしばしば見られます。

冬の只見では、餌場や隠れ場所を雪が覆い尽くすため、多くの小鳥は雪の少ない地域へと移動してしまいます。そのため、ハイタカにとっても只見の冬は、餌の少ない過酷な季節であると考えられます。冬に只見で見られるハイタカは、餌を求めて他の地域へ移動中の個体が、入れ替わり立ち替わり観察されているのかもしれません。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「只見の猛禽類」

会 期：2021年12月4日(土)～2022年4月4日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー